起句０１）天の川無量の魂を鎮め居り　恆雄
０２）眼下しきりに颱風生まる　和子
０３）秋日和今日も書斎に独りいて　やよい
０４）ぴいと飛び立つ番（つが）いの色鳥　七緒
月　０５）月を見る家守貼りつく古ホテル　以和於
折端０６）時を計るか砧打つ音　恆雄
折立０７）ジャカルタに璃花子の笑顔新記録　松陽
恋　０８）空港ロビーでまた待ちぼうけ　や
０９）大股に行くは馴染みの冬帽子　和
１０）異国の客とつつく牡蠣鍋　以
１１）軍手してストーブ係三人組　七
１２）嫁と舅で婿殿いびる　松
月　１３）月おぼろ迎え来りて帰路につき　恆
１４）はやぶさ2号は涅槃西風まかせ　七
１５）芽柳のもつれる街の昼下がり　以
１６）バレンタインデーは銀ブラと洒落　和
花　１７）古えの競馬場にも花の舞う　や
折端１８）呪文忘れて戻れぬ世界　恆
折立１９）海水浴二歳児迷わす祖父の罪　松
２０）おやつはいつも氷小豆で　や
２１）炎暑にも厭わず行列日本人　和
２２）踊りの本場も高円寺となる　以
２３）高層の窓より左大文字　七
２４）風炉の名残に黒楽の椀　や
２５）鉦叩き声の隙間に闇充ちる　恆
恋　２６）ベンツの紳士に老女衝突　松
２７）ただ一羽離れて恋のシャルロッテ　以
２８）エプロンに隠す鈍色の短剣　和
月　２９）寒月の列石の丘テス蹌踉　七
折端３０）宇宙生命体の凍結　恆
折立３１）初稽古調子の狂ったヴァイオリン　松
３２）今朝の庭に侘助が咲いた　以
３３）食卓も椅子も自分で塗り直し　や
３４）やっぱり差別医大の入試　七
花　３５）カノン漏る館に花の散り止まず　和
３６）裏の河瀬に蝌蚪游ぎ出す　松